比喩

原民喜

青空文庫

机を前にして二人の少年は坐ってゐた。ガラス窓の外には寒さうな山があった。話は杜絶え勝ちだった。時間がここでは悠久に流れてゐた。

「君は馬鹿だよ、僕は君を軽蔑してゐるのだが、ただ便宜上交際ってるのだよ。」と一人は腹の底でさう囁いたが、口に出しては云はなかった。仮りにこんなことが平気で云へて、相手も平気で聞き流して呉れたら、さぞ面白いだらうに、と彼は腹の底で妄想した。相手の少年は鼻で深い呼吸をしながら、何か別のことを考へてゐるらしかった。

「僕は妙な気がするよ、かうして君と僕と此処に坐ってゐるのと、恰度同じやうなものが、何処かこの宇宙の裏側にもう一つあるのではないかと、何時もそんな気がするのだ。」

相手が変なことを云ひ出したので、彼の注意も改まった。

「これは理窟でなしに、僕にたださう想へるのだよ。向ふ側に感じられる世界はガラスのやうに透明で静かだが、やはり僕達と同じもので、僕達と一向異らないのだ。」

彼は相手の言葉がよく解らなかったが、ただ黙って肯いた。

机、山、窓、二人の少年、それらのてんでな妄想、そしてその複写——彼は黙って相手の顔を眺めた。

相手の少年はそれから間もなく死んだ。

さうすると、もう一方の世界はどうなるのかしら——と彼は時々冷やかに考へた。しかし、

それは二重の世界を打消さうとするのでもなかった。

青空文庫情報

底本：「普及版　原民喜全集第一巻」芳賀書店
　　1966（昭和41）年2月15日
入力：蒋龍
校正：小林繁雄
2009年6月18日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

比喩

原民喜

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/